

教育に見切り発車はダメ！ 反対は私一人

「教室にタブレット端末を配備」に4億円強

4つも問題点が残されたままの見切り発車は、教育にとって有害です。

- 1, 「貧困家庭のネット環境の整備」を支援しない限り、オンライン授業は無理です。
- 2, 購入機種は小さ過ぎてオンライン授業には不向き。←「安上がり」が重視された結果。
- 3, コロナ下の巣ごもり中に端末機器を使い過ぎて、子どもたちの視力が落ちたが、教育委員会は「児童や教職員への影響や対応策」も検討せずに、購入を決定。
- 4, **莫大な金額にもかかわらず、入札もせずに 富士電機の子会社から購入**

市は 購入先にありき。議会は 最善策の追及そっちのけ。反対は私一人でした。

子ども包括支援センター 市役所・隣に建設決定

子どもの貧困、児童虐待、孤独な子育て、言葉の通じない外国籍の児童の増加・・・など、子育て支援は多岐にわたっています。問題ごとに担当課が違うため、たらい回しにされがちのため、国は「子ども包括支援センター」を、法的に位置づけました。

ところが日野市は、従来の子ども部を「包括支援センター」と呼ぶに留め置こうとしました。「包括的な支援をするためには、拠点が必要だ！」と、議会において訴えたのは私一人！ しかし正論であれば、たった一人の声でも行政を動かす事ができるのです。

日野市は、「財政 非常事態 宣言」を出した裏側で、元副市長には、闇報酬まで与えていました。身内に甘い体質は、自民党政権と変わりはありません。

その良い例が、上記に書いたタブレットの購入です。何の体制も整っていないのに、オンライン授業を望む保護者の願いに便乗して、約4億円分を購入。しかし、実は、「富士電機の子会社への発注ありき」でした。

ネット産業や教育産業が教育現場に入り込むギガスクール構想は、教育が儲けの対象とされる懸念や、国家統制の道具となってしまう危惧が、学術分野や国政野党

からも表明されています。ところが、日野市の場合は、私を除く全議員が、何一つ 疑問を呈する事なく安易に賛成。また、元副市長問題でも、私と無所属市議で提出した「百条委員会の設置を求める動議」に対して、野党も与党と共に否決してしまいました。私は、日野市においては、「野党」「与党」にこだわる意味は、全く無いと感じています。私の使命は、市民を守るために行政をチェックする事と、女性が発言するとバッシングされる社会を変えていく事だと考えます。今後も、「ジェンダーゆ党」として、「是々非々」の立場を貫きます。



市議会議員

無所属

奥野りん子

日野市元副市長の逮捕!!

あなたは巨額な税金の着服を許せますか？



日野市議会議員 奥野りん子

奥野りん子は、令和元年に、元副市長の詐欺容疑について議会で告発し、日野市に対しては「刑事告訴せよ!」と、訴え続けてきました。翌二年に、「あなたのホームページを見させて頂いた。立件すべきと判断したので、協力して頂きたい。」と、警視庁から連絡がありました。私は、集めた資料を警視庁に提供し、何度もやり取りさせて頂きました。その主張通りに、令和三年二月十七日に、元副市長が逮捕されました。まだ、日野市の関与や原因の解明が残されています。引き続き、全力を尽くします。

私・奥野りん子は、元副市長に関して「日野市が、毎月 100 時間の残業代を支給」「川辺堀之内 区画整理組合が 2075 万円の報酬を支給」の事実を突き止め、令和元年 3 月の議会で告発。百条委員会を設置する動議を共同提出。住民監査請求を経て、日野市を提訴。日野市はこれを受け、3530 万円の返還を求め、元副市長を提訴しました。

私はさらに、組合の収支決算や総会資料を徹底的に分析し、

- ① 調査設計費の中に、意味不明な委託料がある事
- ② 工事契約の中に、「歩掛」という経費が紛れ込んでいる事
- ③ 助成金が 2 度にわたって組合有利に変更されている事
- ④ 事業計画が 5 度にわたり、水増しされている事を突き止めました。①と②は、組合が人件費詐欺分と認め提訴↓

→ 警視庁に提出した資料



組合は、独自調査の結果、「意味不明な委託料」と「歩掛」が、私の主張通り、元副市長らに流れた「人件費」であると認め、元副市長に 1 億 8300 万円の返還を請求する訴訟に踏み切りました。今回の逮捕は、「市が組合に支払った助成金・8000 万円」の詐欺容疑ですが、総額 4 億 1100 万円のうちの、まずは 1 年分を対象としています。

「工事契約の 2 社独占」や、「保留地を開発業者に一括購入させ、マージンを貰っていた疑い」についても、いち早く指摘済みです。捜査状況を見守らせて頂いています。

警視庁から感謝の言葉・資料を提供・捜査に協力